大阪府立大学中国語ポッドキャスト旅行会話編

清原文代・顧春芳 著

第１４回　買い物、サイズ違いや色違いを出してもらう

［課文］

M: 太小了。有没有大点儿的?

Tài xiǎo le. Yǒu méi yǒu dà diǎnr de?

小さすぎます。もう少し大きなのはありますか。

F: 有。这是大号的。

Yǒu. Zhè shì dàhào de.

あります。これがＬサイズです。

M: 有其他颜色的吗?

Yǒu qítā yánsè de ma?

他の色のはありますか。

F: 有。请稍等。

Yǒu. Qǐng shāo děng.

あります。少々お待ちください。

［参考 Web ページ］

中国连锁经营协会

http://www.ccfa.org.cn/

“连锁经营 liánsuǒ jīngyíng”とはチェーン店経営のことです。

“特许经营 tèxǔ jīngyíng”とはフランチャイズ経営のことです。

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成 18 年度プロジェクト型研究費によって制作されました。教育目的では無償で使用することができますが、著者の許諾なしに販売・出版することはできません。

［新出語句と語法のポイント］

M: 太小了。有没有大点儿的?

Tài xiǎo le. Yǒu méi yǒu dà diǎnr de?

小さすぎます。もう少し大きなのはありますか。

［新出語句］

小	xiǎo	【形】小さい
大	dà	【形】大きい

［注釈］

(1)反復疑問文☞第 11 回のプリント参照。

(2)太一了☞第 12 回のプリント参照。

(3)“（一）点儿”☞第 5 回、第 11 回、第 12 回のプリント参照。

(4)“的”の後ろにある名詞が省略されています。連体修飾語を作る助詞“的”の後ろの被修飾語の省略☞第 11 回参照。

F: 有。这是大号的。

Yǒu. Zhè shì dàhào de.

あります。これが L サイズです。

［新出語句］

大号	dàhào	【名】L サイズ

［注釈］

(1)“这是大号的。”は直訳すると「これが L サイズのものです。」という意味になります。L サイズという規格そのものを指しているのではなく、例えば L サイズの服など物を指しています。“的”の後ろの被修飾語の省略☞第 11 回参照。

(2) M サイズは“中号 zhōnghào”、S サイズは“小号 xiǎohào”と言います。

M: 有其他颜色的吗?

Yǒu qítā yánsè de ma?

他の色のはありますか。

［新出語句］

其他	qítā	【代】その他の
颜色	yánsè	【名】色

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成 18 年度プロジェクト型研究費によって制作されました。教育目的では無償で使用することができますが、著者の許諾なしに販売・出版することはできません。

［注釈］

(1)“其他”は一般に２音節（漢字２文字）の名詞を修飾する時はこの文のように間に“的”は入れませんが、１音節（漢字１文字）の名詞を修飾する時には“的”が必要です。

（例）其他的事 qítā de shì（その他の用事）

(2)色の言い方の例

红色	hóngsè	（赤）
白色	báisè	（白）
黑色	hēisè	（黒）
灰色	huīsè	（灰色）
蓝色	lánsè	（青）
黄色	huángsè	（黄色）
绿色	lǜsè	（緑色）
紫色	zǐsè	（紫色）
粉红色	fěnhóngsè	（ピンク）

(3)“的”の後ろにある名詞が省略されています。連体修飾語を作る助詞“的”の後ろの被修飾語の省略☞第 11 回参照。

F: 有。请稍等。

Yǒu. Qǐng shāo děng.

あります。少々お待ちください。

［新出語句］

稍　　shāo　　【副】（程度や時間などが）少し、少々

［注釈］

“稍”は１音節の動詞や形容詞を修飾します。２音節のものは修飾できません。

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成 18 年度プロジェクト型研究費によって制作されました。教育目的では無償で使用することができますが、著者の許諾なしに販売・出版することはできません。

［復習］紙を半分に折ってください。日本語を見て中国語で言えますか？それを簡体字で書けますか？また中国語を見て意味がわかりますか？中国語を発音できますか？試してみましょう。

M: 小さすぎます。もう少し大きなのはありますか。

F: あります。これがＬサイズです。

M: 他の色のはありますか。

F: あります。少々お待ちください。

音声を再生する

M: 太小了。有没有大点儿的?

F: 有。这是大号的。

M: 有其他颜色的吗?

F: 有。请稍等。

この教材は大阪府立大学総合教育研究機構平成 18 年度プロジェクト型研究費によって制作されました。教育目的では無償で使用することができますが、著者の許諾なしに販売・出版することはできません。